



大阪会場の様子（右）と  
東京会場（下）



朝日小学生新聞が主催する朝小サマースクールは、子どもたちの夏の風物詩。例年、たくさんのお出迎えが感性を磨いています。

今年にはわたしたち「ブンブンとどろむ」のどろむ社も協賛となり、このサマースクールではじめて作文コースを開講いたしました。今回のテーマは「ものがたりをつくろう」。

お子さまが読み上げる作品に、大阪・東京の両会場はとっても盛り上がったのでした。

朝小サマースクールで  
楽しく「ものがたり」を作ったよ！

安武 真理先生

愛媛県八幡浜市出身。京都大学文学部卒業。京都市中学校教諭を経て、塾向け作文教材「ザ☆作文」「ザ☆読書」（どろむ社）をはじめとする作文教材の開発・執筆に携わる。その優れた指導法には定評があり、子どもや保護者から多くの支持を得ています。

著書に「文章の書き方」がミルミルうまくなる本（PHP研究所）など多数。



大阪会場  
8月5日（金）

東京会場  
8月8日（月）

ゆかいなくまたちを  
ご紹介します

今回のサマースクールは、大阪会場が、西区の「大阪科学技術センター」、東京会場が、渋谷にある「こどもの城」。夏休みとあって、どちらも親子連れでにぎわっていました。

今回、講師をつとめてくださったのは、



子どもたちの真剣な表情

弊社の作文教材などを数多く手がけている安武真理先生です。会場に子どもたちが集まり、授業が始まると同時にあらわれたのは、なんと、くまのバベット。「さあ、いままで眠ってたこの子どもが覚めたよ！」

思いもかけない展開に、はじまったばかりで雑然としていた場内が、一気に先生のほうに魅きつけられます。

そしてとりだしたのが、本日のテキスト「どのかま？」（どりむ社刊）です。

このかわいい絵本には、個性豊かなくまたちがいっぱい。先生はまず、このくまたちを一人（？）ずつ、紹介していきます。

「さあ、これがフェルナシくんです。この子はどことなくまかなー？ この絵を見て想像してね」

先生が手にした木を見ながら、たくさんの子どもたちが手を挙げてます。ひととおりみんなの意見を聞いてから、「そうですね、食いしん坊！」

先生の声もはずんでいきます。



保護者も執筆

お気に入りの  
くまをえらぼう

テキストに登場する五人のくまたちを紹介し終わったら、ひとり一冊づつ「どのかま？」とプリントが配られて、いよいよ授業のはじまりです。

まず、自分のお気に入りのくまさんを選らんで、どういう性格なのか、好きなものや嫌いなもの、住んでいるところなどを自由に想像しながら、プリントに書き込んでいきます。

